ちょっと挑戦・7 音

オカリナで「羊飼いの娘がいた」を吹こう

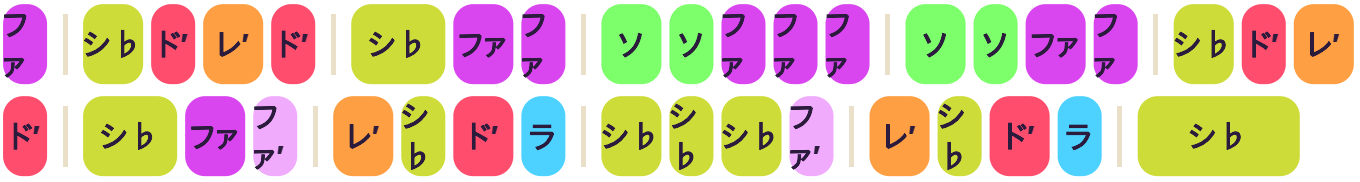


曲パック「フランスの童謡・民謡」の曲です。

「羊飼いの娘がいた」のオカリナのドレミ（色分け）、楽譜、運指図、音を聴きながらの練習。
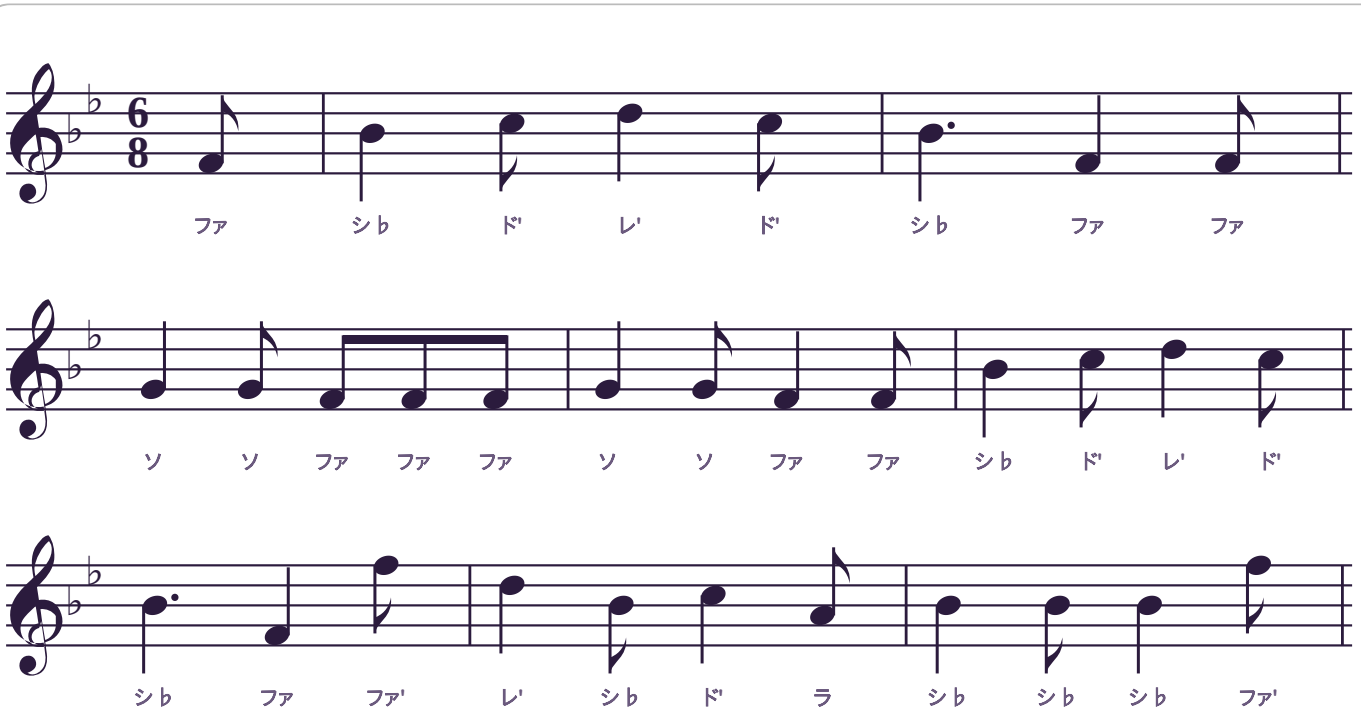
使う音は 7 つ：**ファ・ソ・ラ・シ♭・ド'・レ'・ファ'**。
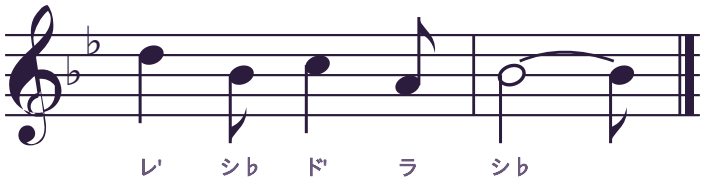
音とリズム



長いブロックは長い音、縦の線は小節の区切りです。

楽譜





ト音記号の五線譜。各音の下にドレミを書いています。

ドレミで書くと

ファ　シ♭　ド´　レ´　ド´　シ♭　ファ　ファ　ソ　ソ　ファ　ファ　ファ　ソ　ソ
ファ　ファ　シ♭　ド´　レ´　ド´　シ♭　ファ　ファ´　レ´　シ♭　ド´　ラ　シ♭
シ♭　シ♭　ファ´　レ´　シ♭　ド´　ラ　シ♭

オカリナの運指

ファ・ファ


表・指穴　裏・親指の穴と小さなサブホール（開ける）

ソ・ソ


表・指穴　裏・親指の穴と小さなサブホール（開ける）

ラ・ラ


表・指穴　裏・親指の穴と小さなサブホール（開ける）

シ♭・シ♭


表・指穴　裏・親指の穴と小さなサブホール（開ける）

ド'・高いド


表・指穴　裏・親指の穴と小さなサブホール（開ける）

レ'・高いレ


表・指穴　裏・親指の穴と小さなサブホール（開ける）

ファ'・高いファ


表・指穴　裏・親指の穴と小さなサブホール（開ける）

「羊飼いの娘がいた」を吹くコツ

- 一音一音、舌でやさしく区切って始めましょう（「トゥー」「ドゥー」とささやくように）。
- 穴は指先ではなく、指の腹のやわらかいところで完全にふさぎましょう。
- オカリナの音程は息で変わります。弱く吹くと低く、強く吹くと高くなります。
- いちばん高い音には、しっかりと集中した息が必要です。息を少し強めにして、オカリナを水平に保つと、息の流れがきれいに分かれます。
- シ♭はクロスフィンガリングの形を使います。開ける穴をふさがないようにして、落ち着いた一定の息で吹きましょう。